

目次

最新情報	1
取扱説明書の訂正	1
使用上の重要な注意	1
Windows および Macintosh 共通	1
Windows	1
Macintosh	2
メンテナンス項目	2
Windows ドライバー	2
Mac OS Xドライバ	2
既知の問題と対策	3
Windows ドライバー	3
Windowsドライバ V1.08 インストール	3
Mac OS Xドライバ V1.09 インストール	3

最新情報

本機のドライバ／ファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のドライバ／ファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) にてご確認ください。

取扱説明書の訂正

「第8章 スタンドアロンモード」の「サンプルレート」の項目

誤：デジタル入力がアクティブのとき、《Clock》の設定は《DIGITAL》に設定され、サンプルレートはデジタル入力に依存します。

デジタル入力がアクティブでないとき、《Internal》に設定され、サンプルレートは《44.1kHz》に設定されます。

正：《Clock》設定は自動的に《Internal》となり、サンプルレートは《44.1kHz》に固定されます。

スタンドアロンモード時は、デジタル入力はご使用になれません。

使用上の重要な注意

Windows および Macintosh 共通

- パソコンにUS-800を認識させるには、パソコンの起動完了後にUS-800の電源をオンにする必要があります。パソコンを起動する際には、下記の手順で操作を行ってください。

- ① US-800の電源がオフである事を確認する。
- ② USBケーブルが接続されていない場合は、USBケーブルを接続する。
- ③ パソコンを起動させる。
- ④ パソコンのデスクトップ画面が表示されたら、US-800の電源をオンにする。

やむをえず、パソコン起動完了前にUS-800の電源がオンになってしまった場合は、一度US-800の電源をオフにし、再度US-800の電源をオンにしてください。

- DAWアプリケーションが開いている状態で、US-800のUSBケーブルまたはACアダプターを抜いたり挿したりしないでください。

Windows

- 付属されているバンドルソフトのCubase LE5は、Windows XP Professional x64 Editionには対応していません。

Macintosh

- Macドライバーは、OS 10.5および10.5以前のOSには対応していません。
- Mac上で、付属されているバンドルソフトのCubase LE5をご使用になるには、スタインバーグ社のウェブページからpatchプログラムをダウンロードして、Macintoshコンピュータにインストールする必要があります。スタインバーグ社のウェブページにおいて、My Steinbergにログインし、サポートのナレッジベースの下記の項目から、patchプログラムをダウンロードして実行してください。
Mac OS X : patch addressing issues with USB-2 audio devices
patchプログラムが見つからない場合は、スタインバーグ社へお問い合わせください。
- US-800動作中は、パソコンをスリープモードに入れる事はできません。
- OSの《Audio MIDI》設定画面において、オーディオ装置のサンプルレートに、176.4kHzと192kHzが表示されますが、本機はこれらのサンプルレートには対応していません。176.4kHzと192kHzは選択しないでください。

メンテナンス項目

Windows ドライバー

V1.08の修正

- Windowsドライバーをインストールした時にご使用になったUSB端子以外では、US-800が認識されない仕様となっていました。これを修正しました。インストール時に使用したUSB端子以外のUSB端子でもご使用になれます。ただし、個々のUSB端子において、予め、ハードウェアウィザードを使用したインストールを行っておく必要があります。この方法については、後述の「Windowsドライバー 1.08 インストール」をご覧ください。
- Windows XP professional x64 Editionのドライバーインストール方法が、取扱説明書に記載されている方法と異なりましたが、これを修正しました。取扱説明書に記載されている通りに、《setup.exe》からインストールできます。
- SonarのWDM/KSモードに対応しました。入出力ポートを設定し、オーディオの入出力が行えます。

Mac OS X ドライバー

V1.09の修正

- ミキサータブ画面の《SOLO MODE》の初期設定が《Exclusive》となっていました。これを取扱説明書記載の通り《Mix》に変更しました。
- ミキサータブ画面の《MASTER》チャンネル、およびアウトプットタブ画面の《LINE OUT》チャンネル、《PHONES》チャンネル、《DIGITAL》チャンネルのステレオリンクの初期設定がオフとなっていました。これを取扱説明書記載の通りオンに変更しました。
- ミキサータブ画面のSOLO動作において、ステレオリンク時に特定の操作を行うとMUTEが正常に動作しない場合があります。これを修正しました。

既知の問題と対策

Windows ドライバー

V1.08における問題

問題：MIDI入出力機能を有するDAWアプリケーションが開いている状態で、US-800のUSBケーブルまたはACアダプターを抜く、あるいは抜き挿しすると、パソコンがリセットする事があります。

対策：DAWアプリケーションが開いている状態では、USBケーブルまたはACアダプターの抜き／挿しを行わないでください。

問題：MIDI入出力機能を有するDAWアプリケーションの起動が完了する前に、US-800からパソコンへMIDIコマンドが送られると、パソコンがリセットします。

対策：MIDI入出力機能を有するDAWアプリケーションを起動する際には、US-800に接続されているMIDI機器の電源をオフにしておき、アプリケーションの起動が完了した後に、MIDI機器の電源をオンにしてください。

問題：Windows XP, Vista, 7の各64bit OSにおいて、YouTubeなどの動画サイトやSkypeなどの動画表示ソフトウェアを2-3時間連続して開いていると、メモリー消費量が増加して、パソコンがフリーズする場合があります。

対策：フリーズを避ける為には、長時間ご使用の際は一度ブラウザやソフトウェアを閉じてから、再度起動させてください。

Windows ドライバー V1.08 インストール

- Windowsドライバー 1.08のzipファイルをダウンロードします。
- ダウンロードしたファイルを、ローカルのハードディスク上のお好みの場所へ解凍します。
- 解凍して出来たファイルの中にある《**setup.exe**》をダブルクリックすると、インストールが始まります。インストール開始後の手順は、取扱説明書と同じとなります。
- パソコン上のどのUSB端子でもUS-800を使用できる様にするには、インストール完了後直ぐに、引き続き下記の手順を行ってください。
 - ① US-800の電源をオフにします。
 - ② USBケーブルをインストールに使用したUSB端子以外のUSB端子に接続します。
 - ③ US-800の電源をオンにします。すると、自動的にハードウェアウィザードが起動し、《**Windowsロゴに合格していません**》という警告が出ますので、《**続行**》をクリックしてください。(この警告は2回表示されます)。しばらくすると、インストールが終了します。
 - ④ ①から③の手順を、全てのUSB端子において実行してください。

注意

インストールに使用したUSB端子以外のUSB端子でUS-800を認識させるには、上記③の様に、一度そのUSB端子にてハードウェアウィザードを起動させ、これを完了させる必要があります。この時ハードウェアウィザードは、最初にインストールした時の場所へインストーラ内の一部のファイルを参照にいきます。このため、ウィザード起動時には、最初にインストールした時と同じ場所に、インストーラがそのまま保存されている事が必要です。上記①から④の手順をすぐに行わない場合は、インストーラを削除あるいは移動しないでおいてください。

Mac OS Xドライバー V1.09 インストール

- Macドライバー 1.09のdmgファイルをダウンロードします。
- ダウンロードしたdmgファイルをダブルクリックします。この後の手順は、取扱説明書と同じとなります。